

安全・安心科学技術プロジェクト（地域社会分野） 平成 20 年度の進捗に関する推進委員会からのコメント

	推進委員会の主なコメント
住民・行政協働ユビキタス 減災情報システム 山梨大学 (鈴木 猛康) 東京大学 (独) 産業技術総合研究所	<p>研究期間終了までにどの程度の実装を目指すのか、多くのサブテーマ間の整合性がとれていないと懸念される。</p> <p>この課題は、住民とのコミュニケーションが強く求められるものだが、全ての住民との双方向の情報システムにあまりこだわることなく、行政が責任を持って情報をくみ上げ、自治会の防災担当等の住民との間でやり取りするシステム等、自発的参加意識の高い人々によるシステムの構築をまずは目指すのが現実的と考えられる。</p> <p>ゲーム機への対応、携帯電話への対応（ADS 登録）などの住民の入力システム費用、無線 LAN の設備拡充など行政に負担いただくべき費用、および、病院情報システムの開発費用、などの各項目の予算について見直しをお願いしたい。</p> <p>情報技術的アプローチばかりでなく、問題の解決策指向型の研究も考慮していただきたい。そのためには社会科学系の研究者の参画も検討していただきたい。</p>
地域水害リスクマネジメントシステムの構築と実践 熊本大学 (大本 照憲)	<p>社会実装を目指しており成果が期待できる。</p> <p>情報システムは、使う側の体制の整備・最適化とあわせて初めて有効になるものである。住民や行政の体制の在り方についてもよく検討していただきたい。</p> <p>情報技術的アプローチばかりでなく、問題の解決策指向型の研究も考慮していただきたい。そのためには社会科学系の研究者の参画も検討していただきたい。</p>
時空間処理と自立協調型 防災システムの実現 (独) 防災科学研究所 (角本 繁) 東京工業大学 京都大学 (株) テクノ	<p>計画通りに目標は達成されていると考えられる。特に研究グループ間の協力機関の連携基盤の構築については評価できる。</p> <p>情報システムに限定せずに減災体制としてのシステム構築を志向していると理解しているが、ユーザーのニーズとリテラシーの明確化を行いシステムに反映していただきたい。</p> <p>平常時に使えるシステムであることは前提だが、非常時の安否確認等がきちんと行われるか、遠軽町で H 2 1 年度に予定している防災訓練で確認していただきたい。</p> <p>国の予算が投入されている研究の成果として、近隣以外への他の地方自治体への展開をどのように行うのかをビジネスベースに乗せることも考えて示していただきたい。</p> <p>無線 LAN の設備拡充など行政に負担いただくべき費用など予算について見直しをお願いしたい。</p> <p>情報技術的アプローチばかりでなく、問題の解決策指向型の研究も考慮していただきたい。そのためには社会科学系の研究者の参画も検討していただきたい。</p>